

平成 22 年 9 月 30 日

レジ袋等のサイズ変更による資源の削減

ポプラグループでは更なる環境負荷低減を目指します

株式会社ポプラ（本社：広島県広島市、社長：目黒真司）は、レジ袋、割り箸をはじめとする店舗で使用する消耗品のサイズや重量を見直し、更なる容器包装資源の削減に努めます。

【レジ袋の規格変更】（平成22年9月1日より順次導入）

店舗で販売時に希望するお客様へサービスで提供するレジ袋を、サイズと強度を保ちつつ薄肉化（約1ミクロン）することでレジ袋重量を削減します。

レジ袋1枚当りの重量を全てのサイズ平均で4～5%削減します

このことにより、チェーン全体の年間レジ袋使用総重量（容器包装の重量）が約16 t 削減可能となります（当社使用量から算出）

【割り箸の規格変更】（平成22年10月5日より順次導入）

店舗で弁当などをお買い上げいただく際に添付する割り箸のサイズを小さくすることで、木材使用量と外装フィルム使用量を削減します。

割り箸のサイズを長さ1cm、幅1mm短くし、1膳当りの木材使用量を約14%削減します

割り箸の外装フィルムの使用量を約28%削減します

このことにより、チェーン全体の年間割り箸使用総重量が約15 t 削減可能となり、容器包装の重量は約1 t 削減可能となります（当社使用量から算出）



割り箸 変更前（上）、変更後（下）

ポプラグループでは、販売時に希望するお客様へサービスで提供する、スプーン・フォーク・ストロー等の外装フィルムについても軽量化を図ってまいります。

以上